

元気 いっぱい!

埴生小学校 1年1組 選書会

目の前に青々とした瀬戸内海を見渡せる高台に立つ埴生小学校に、今年の春、36名の元気いっぱいの子もたちが入学してきました。始まったばかりの小学校生活の様子をのぞかせてもらおうと、体育館をのぞいてみると、そこには、たくさんの児童書が並べられていました。

なぜ本が図書館ではなく、体育館にあるの?という疑問に答えてくれたのは1年1組を担当する野村京子先生。「このように、テーマもジャンルも様々なたくさんの本を集め、この中から子どもたちが本当に読んでみたいという本を選んでもらう授業なんですよ。」児童一人ひとりに、読んでみたいと思う本に投票してもらい、図書室で新しい本を買う際に参考にするそうです。動物や乗り物の本を前に、本を選ぶ子どもたちの目は真剣そのもの。「これがいい」「これも面白いよ」という声があちらこちらから聞こえてきました。

今回、子どもたちが選んだ本が図書室に入るのは夏の予定。みんな選んだ本が届くころには、夏の暑さにも負けにくいくらい、心も体もひとまわり大きくなっていることでしょうね。



▲たくさんの本の中からお気に入りの一冊を選ぶ児童たち。



▲読んでみたい本に紙(投票用紙)を挟みます。

夢 いっぱい!

勝負強さは柔道仕込み 土俵の上でも一本勝ち!



金メダルを手にする二人のちびっこ力士
深野翔太くん(本山小5年)
海上征久くん(有帆小4年)
(左から)

4月3日、「第22回わんぱく相撲全国大会地区予選」が下関市で開かれ、本市から出場した深野翔太くん(本山小5年)と海上征久くん(有帆小4年)がそれぞれ5年生、4年生の部で見事優勝、全国大会への切符を手に入れました。

二人は市内の少年柔道教室に通う柔道仲間。大会には、相撲のための特別な練習を積むことなく、無欲で挑戦したところ、あれよあれよの快進撃でつかんだ栄冠でしたが、県内の強豪相撲クラブに所属する選手を倒しての今回の結果は、二人にとって大きな喜びと自信になったようです。得意のはたき込みで「まずは一勝を」と全国大会に向け堅実な目標をたてるのは深野くん。一方の海上くんは上手投げが得意技。全国大会でも「優勝したい」と大胆な?意気込みを語ってくれました。

海上くんの祖父で、監督として地区予選に参加した海上哲男さんは、期待以上の好成績に驚きながらも、「柔道で培った勝負強さが土俵でも発揮されたのでしょうか。全国大会が子どもたちの良い思い出になれば。」とうれしそうに語ってくれました。実は監督の海上さん、かつては相撲で国体に出場した実績を持つ本格派。今後は、全国大会に向け指導にも一層熱が入ることでしょう。

全国大会は7月30日(日)に両国国技館で開催されます。柔道仕込みの勝負強さで、両国の土俵の上でもぜひ一本勝ちをおさめてもらいたいものですね。